



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	三光合成株式会社 工場増築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★

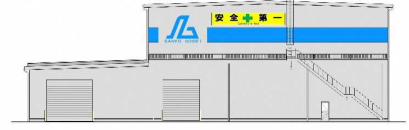
2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点*/満点		取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.9	/5		ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5		ふつつ
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.8	/5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	
			よい 4点以上	ふつつ 3点以上
				がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.9	
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑧高窓と大型シャッターの解放等で高低差自然通風を確保 ⑨BEI=0.29 ⑩運用管理体制:ISO14001</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪擬音装置と節水型便器の併用を予定 ⑫乾式材料の使用と単純構造の併用で容易に分別・取り外し可能 ⑬全てにF4仕様を計画するが施工数量も少ない グラスウール断熱材仕様で発砲系断熱材は不使用</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑭入手し易い規格化された材料で構成されメンテナンス性が高い</p>	<p>Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能</p> <p>Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備</p> <p>3.2 3.2.1 ③ 昼光制御</p> <p>Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数</p> <p>2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔</p> <p>Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制</p> <p>2 ⑧ 自然エネルギー利用</p> <p>3 ⑨ 設備システムの高効率化</p> <p>4 4.1 ⑩ モニタリング</p> <p>4.2 ⑩ 運用管理体制</p> <p>LR-2 1 1.1 ⑪ 節水</p> <p>1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無</p> <p>1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無</p> <p>2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減</p> <p>2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用</p> <p>2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み</p> <p>3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用</p> <p>3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤</p> <p>3.2.2 ⑬ 断熱材</p> <p>3.2.3 ⑬ 冷媒</p> <p>LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮</p> <p>2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>			
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.0
	<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p>	<p>Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性</p> <p>2.1.2 ⑯ 免震・制振性能</p> <p>2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備</p> <p>2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備</p> <p>2.4.3 ⑰ 電気設備</p> <p>2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法</p> <p>2.4.5 ⑰ 通信・情報設備</p>		
		"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑲工場内に設置する機械及び製品の関係による筋交い部のみが改造時の制約部としてあり、荷捌きはほぼ壁を無くしてある</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p>	<p>Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画</p> <p>3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり</p> <p>3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ</p> <p>Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上</p>			
	"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.5
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■敷地外環境対策 (㉔持続可能な森林から産出された木材/㉕温熱環境悪化の改善)</p>	<p>Q-3 1 ⑳ 生物環境の保全と創出</p> <p>2 ㉒ まちなみ景観への配慮</p> <p>3 3.2 ㉓ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>LR-2 2 2.5 ㉔ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>LR-3 2 2.2 ㉕ 温熱環境悪化の改善</p>			

CASBEE®-建築(新築)2021年SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三光合成株式会社 工場増築工事	階数	地上1階
建設地	静岡県掛川市下土方3560	構造	S造
用途地域	用途地域無指定	平均居住人員	12人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2022年8月10日
敷地面積	17,333 m ²	作成者	戸塚建設 平野芳行
建築面積	3,071 m ²	確認日	2022年8月10日
延床面積	3,071 m ²	確認者	戸塚建設 平野芳行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 69%
③上記+②以外の 69%
④上記+ 69%

92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健) 2.4
4(教育) 2.0
5(シスター) 1.9
6(水・衛生) 2.1
7(エネルギー) 1.7
8(経済・雇用) 1.5
9(イノベーション) 1.7
11(都市) 2.2
12(生産・消費) 2.1
13(気候変動) 1.3
15(陸上資源) 2.1
17(実施手段) 2.1

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性: 1.5 耐用性: 3.0 対応性: 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境: 2.0 まちなみ: 2.0 地域性・地域性: 1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の: N.A. 自然エネ: 4.0 設備システ: 5.0 効率的: 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源: 3.4 非再生材料の使用削減: 3.3 汚染物質回避: 4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化: 4.2 地域環境: 3.0 周辺環境: 2.7

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>工場・倉庫とも屋根面の断熱を図り、将来的な太陽光パネル設置を見込んだ構造とした。加えて、工場側は空調効率を考慮し外壁面も断熱を考慮した。「これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。」</p>	<p>その他</p> <p>樹脂成形単色材不良品は、外部での加工を減らすよう破砕機を使用し再利用を行えるよう配慮した。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>倉庫・荷捌きとを換気上有効的に利用し、屋外との温度差を利用するようしたり、壁やシャッターにおいて偏向風を可能な限り利用する配慮をした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>事務所部分が無く内装も少ない為特筆する事が無いが、空配管を使用し将来的な入替の際に負担の少ないよう配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>偏向風や温度差を意識しながら、窓や換気扇を配置し有効に換気できるよう配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>従来の冷却水装置に比較して補給水量の節水効果が見込まれる装置を配置した。節水型便器を配置した。</p>
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>隣地とは全て道路で区画された敷地であるが、南隣地建屋側から倉庫を干渉とし工場を配置した。また、必要最低限の高さや空間となるようし、加えて既設と同色系で周辺に馴染むよう配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>調整池調整容量の余裕分を確認し、範囲外の一部を調整池に引込み、直接放流分を減じた。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される